

～令和元年度 地区懇談会の振り返り～

地区懇談会は、魅力ある地域づくりを進めていくため、また、地域における様々な課題を解決するため、地域にお住まいの皆様自身が考え、話し合い、行政と情報交換を行う場として区内の各連合地区で開催しているものです。

令和元年度は6月11日から10月31日までの間に開催され、延べ745人の参加がありました。

地区懇談会開催日程及び参加者数一覧

地区	日程	参加者(人)
戸塚第一	10月26日(土)	27
戸塚第二	9月1日(日)	16
戸塚第三	9月19日(木)	46
踊場	10月31日(木)	33
北汲沢	6月11日(火)	24
舞岡	8月18日(日)	52
川上	9月7日(土)	95
柏尾	7月13日(土)	61
東戸塚	8月24日(土)	31
平戸	8月25日(日)	42

地区	日程	参加者(人)
平戸平和台	7月7日(日)	41
上矢部	8月24日(土)	21
名瀬	8月31日(土)	47
大正	9月28日(土)	70
汲沢	8月24日(土)	53
上倉田	6月29日(土)	36
下倉田	9月1日(日)	39
吉田矢部	9月28日(土)	11
	参加合計人数(人)	745

地区懇談会テーマ別の概要 (括弧内は平成30年度の数)

項目	地区数	テーマ数(件)
○ 防災・防犯関連	9(9)	15(16)
○ ハートプラン・福祉関連	6(8)	8(12)
○ 道路・交通関連	4(7)	12(19)
○ その他 ごみ・清掃・喫煙 施設等整備 その他	16(13)	23(19)
※ 区運営方針	7(7)	7(7)
	テーマ数合計(件)	65(73)



戸塚区のマスコット ウナシー

地区懇談会の概要

文中 ○：地域（発表、意見、質問） ◇：地域以外（テーマ説明、解説、回答）

戸塚第一地区

1 様々な地域の取組について

- 2025年問題や自治組織への加入率の低下など地域の課題は様々であるが、地域に暮らす方々同士が「近隣の困りごとに気づきにくい」状況にある
このような状況を変えていくため、以前は当然のように出来ていた近隣のつながりの場を意識的に作っていく取組が行われている
事例として、場所がない状況を変えるため個人宅の庭先や商店街にベンチを置く長野市の『まちの縁側育みプロジェクト』、会場が遠くて参加できないという声に応じて自宅を開放する川崎市の『ご近所サークルダイヤモンドクラブ』などの取組を紹介
また、戸塚第一地区で行われている『ほっとサロン』・『うっかりほっとクラブ』の取組を紹介し、地域での取り組み方を考えた

2 平成30年度の戸塚第一地区懇談会における検討について

- 昨年度はテーマ『地域のイベントに多くの方に参加してもらおう』に沿って「上矢部地区の取組紹介」、下郷町内会による「盆踊りの周辺自治会への呼びかけて実施の例」、青少年指導員連絡協議会による「イベント参加者増への工夫」などの発表等が行われ、これを基に意見交換が行われたことを再確認し、併せて本年度の区民意識調査結果の一部が紹介された

3 グループワークと意見の共有（出席者は4グループに分かれ意見を交換）

- Aグループ 防災に関し、戸塚小学校では13町内会・3連合が拠点としているが参加者が少ない。下郷小学校では避難者が想定人数より多いことが懸念され、近隣農地の活用を検討中
- Bグループ 担い手不足対策で、行事は実行委員会方式とし、役員負担を軽減することを考える。地域通過者等のゴミのポイ捨てなどに対処するため、有料化の論議を始める時期にきている
- Cグループ つながりづくりのため、お祭りや草むしり、手芸創作展などが行われている。災害への関心は高く防災勉強会が行われている。台風時のゴミ収集中止情報等の伝達方法は課題
- Dグループ 活動に関わっていく中で横のつながりが作られていく。集まって話し合うテーマには防災が良い。高齢者に防災グッズの取り扱い説明会を予定している

地区懇談会の概要

文中 ○：地域（発表、意見、質問） ◇：地域以外（テーマ説明、解説、回答）

戸塚第二地区

1 ゴミの分別や捨て方のマナーについて地域で取り組む課題と対策

- ◇ 資源循環局戸塚事務所よりゴミ排出量の削減する必要性や分別の現状をパワーポイント等により、説明し、併せて市内ゴミ集積所の具体例を紹介
- ゴミを出しに行ったとき、排出日が違うゴミを見かけても何もしなくていいのか
- ◇ 取り残し等により、注意喚起をさせていただくのでそのまま良いです
あまりにも分別が守られていない場合は中身を確認して指導をさせていただきたい
ずっと取り置かれている等、ゴミが気になった場合は事務所にご相談いただきたい
- プラマークのついている物はプラスチックゴミでいいのか
- ◇ プラスチックゴミで問題ありません
- ◇ 紙ゴミ及びプラスチックゴミの分別について別途、資料により説明（戸塚事務所）
- 高齢者の個別収集（ふれあい収集）の数は
- ◇ 率は微増、戸塚区内では750件ほど実施しています
- 認知症等が原因でゴミの分別ができない人への対応について何か考えていることはあるか
- ◇ やむを得ない事情のある方には、特別なシールを配布し、そのシールが貼られているゴミは分別がされていなくても回収する対応を行っています
- 有料のゴミ袋を導入すれば、ゴミの発生を抑制できるのではないか
- ◇ 確かに有料のゴミ袋は、ゴミの発生を抑制する効果があります。しかし、市民の皆様のご協力で、排出されるゴミが大量に減り、現在も減少傾向です。その中で、さらにゴミ袋を有料にして負担を強いるということを現時点では考えていません
- 現在設けられている収集場所が妥当であるかについて、地域参加者間で討議あり
- 坂の上から収集場所まで運ぶのが困難。新しい収集場所を設けてほしい
- ◇ ゴミ収集車が通れるか等、現地を見てから再度お話させていただきます

2 その他

- 地域の課題は町内会の誰に相談するのか
- 町内会の役員が相談事を聞きます

地区懇談会の概要

文中 ○：地域（発表、意見、質問） ◇：地域以外（テーマ説明、解説、回答）

戸塚第三地区

1 戸塚駅西口のまちづくり

- ◇ 「戸塚駅周辺地区住み続けたいまち・まちづくりプラン」の概略と進捗状況等について説明
- プランは公表されているのか
- ◇ ホームページ等で見ていただける
- スケジュールに「検討に3年」とかかっている場合、実施は含まれないのか
- ◇ 記載の考え方は書かれている通りだが、少しでも実施できるよう取り組んでいく

2 災害時の問題について

- 災害後に家庭からの被災に伴うごみ排出を事業者が行うと有料になると聞いた
- ◇ 所有者からの委任や罹災証明等があれば有料にならない。詳しくは資源循環局に確認を
- 災害時に公園等をごみ出しの場所に決めておくことはできるか
- ◇ 通行の妨げにならない場所というのが基本で、路上がいっぱいなら回収されるまでゴミ出しを待っていただきたい

3 第4期ハートプランに向けたグループワーク

「地域で活動や生活をしている中で、今感じていること」をテーマに意見公開

Aグループ

見守りをする対象者がとても多い。災害時だけでなく日常的な見守りも必要。この地区の活動を知り、今後の地域活動に生かしたい

Bグループ

活動している人が固定化している。災害時に助け合えるように、日頃からの地域防災拠点やマンション間の連携が大事

Cグループ

区と協定を結んで要援護者リストを入手し共有している。「デュランタ（地域ネットワーク訪問事業）」の活動はもっと知って欲しい。他にサロン活動として「こころんカフェ」などがある

Dグループ

デュランタではドアツードアのもてなし、ゆるやかな見守りを行っている。近隣と町内会との連携も大事。最近災害が多く、関心が高まっている時に活動を広げられれば

Eグループ

平均年齢71才のボランティア「あいネット（支えあい活動事業）」では年間10回の草取りなどに80人が参加している。近隣の複数の自治会でイベントを実施。無関心な人の取りこみを考えていきたい

Fグループ

近隣の町内会と連携していけばうまくいく。戸塚は古くて良い街である、様々なイベントや祭りを通じて今後も街づくり、人づくりに取り組んでいく

地区懇談会の概要

文中 ○：地域（発表、意見、質問） ◇：地域以外（テーマ説明、解説、回答）

踊場地区

1 テーマ「踊場地区の未来を考える～ユニバーサルデザインのまちづくり～」

全自治会町内会が作成した問題地図を連合全体図に統一し、当該図面を壁面に掲示した。
この連合全体のマップを俯瞰しながら意見交換を行った。

2 地域出席者からの意見

(1) 地域の現状の再確認

- 高齢化の進んでいる地区と若い世代が転入している地区が混在している。
- バス停までも遠く、移動手段に困っている地区がある。
- 坂道や階段が多く、高齢者は移動が厳しく外出意欲がなくなる。
- 歩いて行ける範囲に買い物できる場所がない。
- 狭い道が多く、見通しの悪い場所があり交通事故の危険がある。

(2) 今後のあり方

ア 交流の多様化

- 連合・社協の専門部同士を上手くつなぎ合わせる共同意識の醸成が必要
- 町内会の範囲を超えた関係づくりを強化し、「仕組みとしてのユニバーサルデザイン」が必要
- 地区センター、学校など地域施設の有効な利用促進も大事
- 中学生の「地域に貢献したい」という気持ちを大切にす。

イ 仕組みづくり

- 道路に名称を付け、地域への愛着を醸成する。
- 坂道に休める場所や手すりなどを付けて高齢者の移動を補完する。
- 買物・移動支援としてコンビニなど多様な方策を考える。
- 子供でも安心して避難できるよう防災無線など情報提供に努める。

(3) 行政などからの意見

- ◇ 子どもたちが町に愛着を持っていただけるような活動を行政も支援していきたい
- ◇ 行政、地域、学校それぞれの得意なところを少しづつ持ち寄り、地域課題の解決につなげていきたい。

地区懇談会の概要

文中 ○：地域（発表、意見、質問） ◇：地域以外（テーマ説明、解説、回答）

北汲沢地区

1 連合独自の3つの統一活動・・防災・防犯・清掃

- 年間行事一覧により、3つの統一活動の内容を共有

2 ハートプラン地区別計画の具体的推進策第2弾

- ハートプラン補助金を活用して、地域独自の活動を紹介する「活動のパネル」30枚等を作成。地区センター祭にてPRした

3 公益社団法人北汲沢地域総合福祉活動委員会の事業活動内容

- 外出支援事業の活動者は9名で、うち女性が3名、年間1,926回。坂道の多い地域に対応した送迎活動であり、地域の役に立っています

4 北汲沢地区社協の高齢者見守り活動、地域の健康づくり

(1) 北汲沢地区社協のひとり暮らし高齢者見守り活動

- 地区の取り組みは、定期訪問、見守り、配食、子育て支援等を実施している
北汲沢地区は65歳以上が160世帯ある。広報「おげんきですか」を配布しながら、手作りのお弁当を配り声をかけ合っている

(2) クローバースポーツクラブによる汲沢地域住民への健康づくり

- 12年目を迎えたクラブの会員数は187人。日体協が全国で進めている総合型地域スポーツクラブの活動として横浜市有数の規模のものである。現在11種目の活動が行われており、健康マージャンは70代女性の参加が多い。今後も「健康づくり」「仲間づくり」「まちづくり」をテーマに楽しんで人を集めていく

5 家庭用火災報知器（住宅用）、住宅防火アドバイスについて

- ◇ 電子機器ですので10年で取り換えを勧めています。ご自身の身を守るということでもう一度見直していただければと思います
- ◇ 緊急要請であるか迷った時に#7119にかけると今直ぐに診てもらえる医療機関を知らせてもらえ、救急車の要請が必要である場合はそのまま119につなぐことも可能です

6 質疑交流

- 警報機は高齢者世帯には取付けてもらえるのか。連動型報知器の値段はどのくらいか
- ◇ ご自身で購入された物で消防にご相談いただければ無料で取り付けに対応します
価格は、おおむね2個で10,000円位です
- 防災について、必ず「自助・共助」の話がでてくる。町内会や連合でもよくやっているが区役所の具体的な支援が見えてこない
- ◇ 地域アドバイザー制度があり、お申込みいただくと町内会などの拠点訓練のアドバイスをします
- プラごみの処理能力は大丈夫ですか
- ◇ 横浜市は、全て国内でリサイクルしております。むしろ問題なのは産業廃棄物です
- ペットの排泄物の処理に問題があります。横浜市のプレートの文言に納得がいきません。プレートの文言を含め考えていただければと思います
- ◇ （後日回答）横浜市では条例で、動物の排せつ物による悪臭で人に迷惑を及ぼさないように規定しています。プレートでは犬のふんについては持ち帰ることを記載し、尿については水で流すことを記載しております。ご要望の内容は、今後啓発を行う上で参考とさせていただきます。飼い主のマナー向上の啓発に努めてまいります

地区懇談会の概要

文中 ○：地域（発表、意見、質問） ◇：地域以外（テーマ説明、解説、回答）

舞岡地区

1 生活保護者等の対策について

- 横浜市及び戸塚区で年齢別と支給比率の割合を教えてください。
- ◇ 「データで見る戸塚」及び「生活保護のしおり」を基に説明が行われた
- 保護率は横ばいとのことだが、被保護世帯の開廃の割合はどれくらいか
- ◇ おおよそ戸塚区内の被保護世帯2,711世帯中400世帯前後が毎年入れ替わります

2 舞岡川護岸整備完了場所沿いの管理道路の整備について

- ◇ 舞岡川では、半屋敷橋から親水広場の下流側まで護岸整備が完了しており、現在は舞岡橋下流の親水広場の整備を国からの交付金により進めており、完成までに数年を予定しております。管理用道路の整備は護岸整備完了後に予定しておりますが、先行して部分的にでも通路の解放ができるよう検討します

- 事業を計画する段階で完成するまでの予算を確保すべき、いかに安く早く作るかが大切

3 県立舞岡高等学校に避難場所指定と防災備蓄庫の設置の提案について

- ◇ パワーポイントを基に各避難場所の役割や種類等を説明
- 大規模な災害が起きれば、舞岡高等学校は必ず使われる、物の位置等わからない段階では拠点の開設は出来ない
- ◇ 県立高校は補充的避難場所として物資や人の調整がついてから開設がされます
- 協定を締結していても、事前に準備・訓練して災害時にすぐ役立つようにすべき。また、豪雨等の災害時は川沿いの学校ではなく山側にある県立高校の活用を事前に準備・活用すべき
- 福祉避難場所とは具体的にどこか
- ◇ 特別養護老人ホーム等の高齢者施設が該当していて、例えば「恒春の丘」や「リハパーク舞岡」、「ホームライフヒルズ舞岡苑」、市内の全地域ケアプラザが福祉避難所に指定されています
- 自分の地域ではいつか避難場所が農地になっている、避難をして農地を荒らした場合補償はあるのか
- ◇ （後日回答）防災協力農地制度があり、登録することで補償があります
- 「～～場所」と「～～所」の使い分けはどのようにしているのか
- ◇ 一定期間滞在する場合「場所」、一時的な利用をする場合「所」を使っています
- 土砂災害の避難所は舞岡地区センターだが区役所が周知しないので誰も知らない、そちらも周知してほしい
- 消防団の資材置き場の費用を町内会で負担しているが、今は消防署が負担するよう変わった

地区懇談会の概要

文中 ○：地域（発表、意見、質問） ◇：地域以外（テーマ説明、解説、回答）

川上地区

1 北海道下川町のSDGsへの取り組みについて

- ◇ 2011年に川上地区と連携協定を結ぶ。林業、鉱業、工業、農業が中心で現在人口は3,300人に減少。面積は東京23区ほどあり88%森林が占めるSDGsを取り入れたまちづくりに取り組んでいる。下川町の様々な事例を、パワーポイントを使って説明

2 品濃小学校での取り組み

- ◇ 現在800名の児童が在籍、様々な学習にSDGsを取り入れようと昨年7月に講師を招き職員が勉強した。今、何が出来るかを5年生を中心に話し合いをし、裏庭にある使用されていない池の泥や砂利の撤去作業を行った。そのヘドロなどもむやみに捨てず、何か役に立てないかと考え、子ども達が自ら他団体に相談し、肥料として活用した。現在6年生となった子ども達は「名瀬里山の会」と繋がり、池にメダカが住めるよう環境整備を行った等の事例をパワーポイントを使って紹介。

3 質疑応答

- SDGs未来都市部会における活動を3,300人の町民へどのように広めていったか、苦労話も含めて伺いたい。
下川町には高等学校までしかないと聞いている。子ども達が大学へ通う為に町外へ出てしまい、卒業した後、下川町にどの位戻っているのかを知りたい。
- ◇ 住民が週末に集まり、IP（情報告知端末機）を使用し住民から住民へこの活動を広めていった。
下川町の子ども達は高校を卒業すると100%町外へ出てしまう。移住者（Iターン）で取り戻している。Uターンは感覚として少しずつ戻ってきている。Iターンは3年前から仕組み作りをしてきているが、Uターンはまさに、今後のSDGsの課題でもある。

4 その他

- ◇ 下川町と横浜市はSDGs未来都市に選ばれている。今後も共に切磋琢磨し、引き続き戸塚区・川上地区と連携していければと思う。
品濃小学校の活動は素晴らしい。子ども達の体験は貴重であり、その体験談などを両親に伝えることはとても大事なことである。戸塚区の企業や大学のいろいろな取り組みを結びつけることを実現できるようにしたい。
- 私のところに秋葉中学校の生徒さんから手紙が来た。横浜国際平和プロジェクトで「アフガニスタンの子ども達に使わないランドセルを送ろう」といったプロジェクトがあり、彼女は小学校5年生の時に下川町へ行き勉強してきたことをこの活動に結びつけている。他にも下川町へ行った子ども達はこの川上地区で大いに活動をしている。

地区懇談会の概要

文中 ○：地域（発表、意見、質問） ◇：地域以外（テーマ説明、解説、回答）

柏尾地区

1 県営柏陽台AP隣接緑地の整備について

- 整備後に、横浜市に移管されるという話であったが40年もそのままになってしまっている。県の方からお話がなくて、進捗状況も全くわからない。いつまでに横浜市に移管されるのか。横浜市のどこに話しているのか
- ◇ 来年度末に横浜市に移管する方向で進めている。土地の問題と整備の問題と2つの課題がある。用地取得は5か所の国有地を今年度と来年度で取得する契約を結ぶ。緑地整備は、計画図面を元に横浜市と移管をする区域や整備内容を協議した。横浜市からは現在の地形を生かし、できるだけ切土盛り土など極力工事を少なくという指導を受けている。樹木の伐採については事前に会長に日時を報告し自治会と調整した。今年度から来年度にかけて工事を行い来年度末には横浜市に移管していきたい
- いつまでに横浜市に移管できるのか、県と横浜市の協議がどうなっているのか地域にもきちんとわかるようにしてほしい
- ◇ 整備内容については横浜市と、より良い方向性を求め話し合いをしているので時間がかかっている。地元の要望は県が把握して横浜市に報告・調整していく
- 災害時に緑地を使用したいと考えている。予算が決まりましたら報告をし、行程表も地元で明確にしてほしい
- ◇ ルート案につきましてバリアフリーを考えてゆるやかな設計をしている。きちんと設計ができたなら自治会にお持ちする。予算も12月の頭にはご報告する
- 私達も歩み寄るのでスムーズに横浜市に移管し地元で活用できることを望む

2 イオン戸塚店の再開について

- 地元にとって不可欠な買い物の場であったダイエーがなくなってしまった。今後どのような店舗になるのか、説明をお願いしたい
- ◇ 来年2月末に完成、3月にオープン予定。イオン店の敷地面積は10,000平米、2階建てとなり1階は食品・フードコート800坪、2階はドラッグストアの大型店半分と専門店半分で800坪、3階は駐車場（130台）、駐車場は他に1階道路側に130台ほどとなる
- 柏尾地区は山坂が多い地域です、買物支援などはあるか
- ◇ 送迎バスや移動販売に関しては店が軌道に乗ってから検討する
- 災害時、横浜市とイオン戸塚が提携してもらえることがあるか
- ◇ 横浜市とは包括協定を結び発災時、避難場所の提供や食料などの物資の無料提供をほとんどのイオンで行っている

3 防災時の地域防災拠点におけるトイレ問題について

- 災害時、食と同じくらい重要な問題が「トイレ」である。何時発生するかわからない災害に備え柏尾地区にいつ整備されるのか、災害時のトイレ対策はどうしたらいいのか、10月に行われる地域防災拠点訓練の課題でもある
- ◇ 災害時のトイレの重要性を配布資料に基づき説明
- 発災後、下水道使用の判断について、防災拠点など大人数の場所は使用禁止、一般家庭では使用できると認識があるがどうなっているか
- ◇ 一般家庭で問題がなければ使用可能だが、必ずしも大丈夫と言い切れない。ハマッコトイレの設置に伴い、下水道の耐震化も併せて行う
- ハマッコトイレは、かなりの大きさがあるので防災倉庫に収納できるか不安
- ◇ 5基配置になり、かなりの大きさになる。すぐに実現できるかはわからないが、防災収納庫等を広げる案は横浜市全体でも出ている
- 東日本の教訓もあり、ハマッコトイレを取り入れたかった。今後横浜市とも提携し、安心安全な街づくりをし、柏尾地区として災害時に対応していきたい

地区懇談会の概要

文中 ○：地域（発表、意見、質問） ◇：地域以外（テーマ説明、解説、回答）

東戸塚地区

1 令和元年度戸塚区運営方針について

◇ 資料を基に説明を行った

2 認知症高齢者の見守り支えあい（ハートプラン推進に関するテーマ）

◇ 見守りネット、見つけてネット、横浜市認知症高齢者等見守りシール事業について、制度利用の手続きと、利用する際の実際の流れを説明

○ 今回ご説明いただいた取組みは、認知症高齢者の家族が手を上げないとサービス等を受けられないが、手をあげづらいうち家族もいると思う。そのような家族をいかに支援するかを考える必要がある。

大和市では認知症高齢者の靴にGPSを埋め込んですぐに発見できるようにしている。

横浜市の取組みでは登録から行方不明時の発見までいろいろな作業が必要である。家族が使いやすくすることが大切であり、未だ制度が生かされていないのではないかと。またどれくらいの利用者がいるのか知りたい。

◇ 戸塚区の見つけてネットの登録者は平成30年度末で240名、実際の検索願いがなされた件数は19件と聞いている。シール事業は市内で2件と聞いている

3 タイワンリスの被害について

◇ 配布資料に基づき横浜市のタイワンリス対策の取組みを説明

○ 市としてどうしていこうと思っているのか

◇ 根本解決を目指すには住宅地ではなく、緑地での捕獲を進める必要があると考えている。緑地で捕獲を進めるために関係部署に声掛けをし、捕獲に協力してもらえる緑地を増やしている

○ 環境創造局動物園課では対応しきれないので、区役所に事務を移管し、地域の巡回などを行うことが必要だ。加えて捕獲器をもっと貸し出していかないと対策は進まない。

◇ 罫の貸し出しはメールやファクスでも対応でき、設置も委託業者に頼める制度を用意しています。捕獲許可や罫の貸し出しについては、さらに検討していきます。

○ 様々な意見が出たので具体的に検討してもらいたい

○ 人的被害が少ないタイワンリスよりも、人的被害を及ぼすヒアリやクモ等の特定外来生物の取組みを行って欲しい

◇ 平成30年度に実施したタイワンリス生息情報収集アンケート調査結果について報告

- ・ 約8割がタイワンリスを見たことがある
- ・ 被害を受けたことがあるのは約1割
- ・ 具体的な被害としては農作物や木
- ・ 今年度のアンケートは現在回答依頼中、締切は9月25日

◇ 被害対策が進むよう、今後一層関係部署が連携して検討していきます。

地区懇談会の概要

文中 ○：地域（発表、意見、質問） ◇：地域以外（テーマ説明、解説、回答）

平戸地区

1 戸塚区区政運営方針について

◇ 資料を基に説明を行った

2 プラごみの現状と問題点及び家庭の対応について

◇ DVDを使ってプラごみ問題を説明

○ 街にゴミが落ちていないので、どこからプラが出てくるのか

◇ 繁華街、飲食店の多い所などポイ捨ても見られ、これらも原因の一つになっている。

○ プラスチック製品は悪いとわかっていても生産量が多いので生産量を国単位で減らしていく目標を立てられないか

◇ ヨーロッパの方ではone way（使い捨て）ストローなどの製造を中止している国もある。その話しが進んでいくとそのうち日本でも取り組みがあると思う

○ 町内会のイベントや盆踊りなどでリユース食器を使用しているが回収率が悪い

◇ リユース食器の回収率を向上する方法としてはデポジット制度や返却時に、粗品を渡す地域もある

3 市有地（道路、公園等）のり面の除草について

◇ 除草については、まず土木事務所にご相談ください

○ 土木に依頼後どのくらいで着手してもらえるのか

○ 斜面が多く人の立ち入りにくい公園で、愛護会は連合町内会で構成、草刈りもできています。愛護会と土木の範囲は分かれていて危険な箇所は土木ですが、必ずしも直ぐに話が進まないということをご承知おきください

◇ 土木がすぐに対応できない状況は変わりません、道路も含め連合町内会や愛護会を通さなくても個人で通報していただきたい。声を上げ続けていただきたい

○ みはらし公園は樹木が多く山林に近いがこの伐採もずっと伝え続けようやく3～4年前に切ってもらった。声を上げ続けてきても数年もかかってしまう

◇ 道路と公園は少し考え方が違い、通行上の安全を優先します。早い対応をしてくれる可能性もあるので電話して道路も公園もご相談ください

○ 草刈りは年に1度では少ないのでは。一般家庭でも年に2回は行っている。子どもがケガをしないうちに対応願います

4 SDGs未来都市 横浜市の取組について

◇ パワーポイントや資料を参考に横浜市の取組を説明

○ SDGsをもっと勉強したいので、わかり易く話しているDVDなどはあるか

◇ 神奈川県HPや国連HPなどに掲載されています

○ JICAのHPなどにも載っている。戸塚区上矢部の大川印刷さんもアワード賞をもらっているのので、我々も益々やれることがあると思っている

◇ 機関車トーマスはSDGsの大使をしています。You tubeでご覧いただけると思います

○ 木製ストローの普及ですが、自治会単位で講習会などやってもらえますか。自分達でやってみたい。「自分達で作ってみませんか」と掲げたいので

◇ アクキュラホームという会社にお問い合わせください

○ 平戸町内にも障がい者作業施設があるので、できれば紹介してあげたい

5 その他

○ 山谷～環状2号線間のトンネル工事の進捗状況は。また、東戸塚駅の改善は

◇ 予算を取らないと工事が進まないため工事は進んでいません。ただ、中止にもなっていません。ホームドアの設置については2032年を目途に順次進められます

地区懇談会の概要

文中 ○：地域（発表、意見、質問） ◇：地域以外（テーマ説明、解説、回答）

平戸平和台地区

1 戸塚警察署による防犯講話について

- ◇ 戸塚警察署生活安全課より、振り込め詐欺の現状と、最近の特殊詐欺の様態や手口、警察への相談等について説明。防止策の1つとして迷惑電話防止機能を紹介。

2 平戸平和台地区防災マップを使って我が家の減災対策を考えよう

- ◇ パワーポイントで戸塚区の地震発生率や、発災時からの対応の流れを説明し、防災マップを使ったまち歩きや「地域防災アドバイザー派遣事業」を紹介。

3 にこにこハウスは地域の皆様と共に2年目を迎えました。

- 運営概要の説明→誰でも気軽に立ち寄れる場所として、平成29年に平戸1・2・3丁目の各町内会、民生児童委員、地区社会福祉協議会が中心となり運営協議会を立ち上げ、寄付金や民間・社協の助成金等を活用し運営。
- 主な事業内容の紹介→にこにこ相談室、カフェ・子育てサロン・歌声サロン・にこにこライブラリー・みんな集まれランチ会・にこにこサロン等、参加者を増やすための取組を進める。運営のため賛助会員やボランティアを募集。

4 広報の配布について

- ◇ 広報紙の配布状況を説明

5 グループディスカッション

4 テーブルに分かれ上記2・3・4のテーマから意見交換

1 グループ

- （減災）防災マップで自分の家を探して見つけて、興味を持ってもらう。
- （にこにこ）リード・核になる人やボランティア、男性の参加者を増やすこと。

2 グループ

- （減災）外国人居住者への防災対策、防災マップの更新策「レジャーシート化」を。
- （にこにこ）定年後及び1人暮らしの方々への参加を声掛け。
- （広報）紙媒体以外（ネット配信）の検討。

3 グループ

- （減災）防災マップを町内会館の外壁に大きく貼ってほしい。
- （にこにこ）「知っている人を増やす」→「賛同者を増やす」→「住んでいる人の拠り所となる」のサイクルを創る。
- （広報）広報配達用の専用バッグがあると良い。

4 グループ

- （減災）青少年指導員が防災マップを基に子ども達のウォークラリー開催を希望。
- （にこにこ）地域交流拠点は防災上も有効なので、多くの目が注がれるよう協力する。
- （広報）高齢化に伴う配布困難には中学校の生徒に協力してもらえると良い。

地区懇談会の概要

文中 ○：地域（発表、意見、質問） ◇：地域以外（テーマ説明、解説、回答）

上矢部地区

1 戸塚警察署による防犯講話

- ◇ 振り込め詐欺のDVDを上映後、防犯講話
- 以前、被害が多かった区が、今は改善されたと聞いた、そこでの取り組みを戸塚区でも採用すれば、被害が少なくなるのではないかと
- ◇ 防犯というのは一朝一夕で効果が出ないので、今回のような啓発活動を何度も何度もする必要があります。皆さんも今日の話地域で広めて欲しい
- ◇ 遊戯場組合から防犯機器の寄付を受けたので、これから防犯協会が区内の一人暮らしの方等へ配布する予定がある

2 災害発生時（地震）の地域が取り組むこと

- ◇ テーマである地域が取り組む「共助」の具体的内容等をパワーポイントで解説
- マンションに住んでいるが、災害時の安否確認で、玄関で呼びかけに応答がない場合、ベランダのガラス戸を割って入る等していいのか
- ◇ 割って入ることは出来ないと考える。安否確認できなかったという記録を残し、後ほど、再度確認するのも手だと思ふ
ほかにも、発災時、家人が玄関先に無事だという合図（ハンカチやマグネット等）を掲出することで、安否確認を簡便にする取り組みも行われている

3 （仮称）名瀬・上矢部市民の森整備の進捗状況について

- ◇ （仮称）名瀬・上矢部市民の森は今年の11月に着工予定。また、（仮称）羽根沢公園は現在用地取得中であり、まだ時間がかかる
- 災害時、井戸があると水の確保に効果的だという話を聞いた。（仮称）名瀬・上矢部市民の森に井戸を設置することは出来ないか
- ◇ この森にはあまり広場がなく、井戸を設置しても災害時に活用できるか不透明。今後この森をどういう場所にするか地域と話し合う場を設けるので、その場で議論していきたい
- 昨年度、小学校に情報がいっていなかった。これから工事が始まるとのことだが、情報は共有されるのか
- ◇ 搬入口の場所や誘導員の配置を始め、登下校の時間になるべくかぶらないように車両通行の時間を設定する等の施工計画を作って学校と調整する

4 令和元年度戸塚区運営方針について

- ◇ 資料を基に説明を行った

地区懇談会の概要

文中 ○：地域（発表、意見、質問） ◇：地域以外（テーマ説明、解説、回答）

名瀬地区

1 振り込み詐欺発生状況等（戸塚警察ニュース）

- ◇ 戸塚警察署生活安全課より、DVDを使い、資料を配布し説明
- ◇ 戸塚警察署の発生件数は67件、昨年より件数は減っているが県下ワースト1
7月より還付金詐欺が増加、特に70代、80代の女性が被害に合う。還付金詐欺の特徴として電話でATMにおびき寄せる犯人が警察や銀行員、区役所職員になりすますので身なりもよく見ること
留守番電話に迷惑機能付の電話がかなり有効である。5,000円～10,000円位で取付け可能
- 迷惑機能付の電話を取り付けるための補助金等はないか
- ◇ 現在、そのような補助金制度はない

2 わが町の消防団

- ◇ 戸塚消防署より、パワーポイントを使い消防団の活動等を説明
戸塚消防団第4分団第3班第4班の団員による日頃の活動について紹介があった。また、消防職員を装った消火器の売り込みも気をつけていただきたいとの注意喚起も行われた

3 令和元年度戸塚区運営方針

- ◇ 資料を基に説明を行った

4 その他

- 名瀬消防団の事務所は神社の下にあり、既に老朽化していることから建替えの要望書を提出済である。候補地も上がり、図面もできたが白紙になっている
- ◇ 消防団の機具置き場は現在候補地を探しており、横浜市から利用照会があった名瀬ホームの跡地に要望書を出しているがまだ決定してはいない
機具置き場の対応年数は50年としている。民地などにあるもので立ち退き要望などが出ているものから優先して。横浜市内に440か所あり年間12棟程度建替えがされてきている候補地が見つかったから、土地調査、設計、建築などで最速でも3年はかかる
- 新しい道のところに候補地にふさわしい場所がある
- ◇ 話を聞いた時に、法務局へ行き調べたが緑地となっている。緑地には建物が建てられないとの回答で除外
- 緑地を解除し、申請したらどうか
- ◇ 現状候補地に上がっている名瀬ホーム跡地の結果を待ってだめなら検討していく。提案があったことは報告する
- 消防小屋は山を背負っているので湿気のせいで腐敗が酷い。耐用年数40年～50年にとらわれず現状を見据えてほしい
- 地区も要望していく

地区懇談会の概要

文中 ○：地域（発表、意見、質問） ◇：地域以外（テーマ説明、解説、回答）

大正地区

1 令和元年度 戸塚区運営方針

- ◇ 資料を基に説明を行った

2 振り込め詐欺予防策

- ◇ 戸塚警察署生活安全課よりDVDを使い、資料を配布し説明
戸塚警察署の発生件数は昨年より件数は減っているが県下ワースト1
7月より還付金詐欺が増加、特に70代、80代の女性が被害に合う。還付金詐欺の特徴として
電話でATMにおびき寄せる犯人が警察や銀行員、区役所職員になりすますので身なりもよく
見ること
留守番電話に迷惑機能付の電話がかなり有効である

3 プラごみ海洋汚染への取組

- ◇ パワーポイント、資料配布にて説明
- ビン、缶、ペットボトルを細かく分別している自治体がある。横浜市は分けて収集しないのか
- ◇ 週1回、一緒に出してもらい市内4か所にある施設に委託し分別している。横浜市内には7万か所の集積場があり、現在は1回の収集ですんでいるところ、分別を行うと品目毎に3回に増えてしまいコストが上がってしまうため現時点ではこのままの収集である。しかし、分別施設も老朽化していることもあり、今後は状況に合わせ2分別、もしくは3分別とするケースについても検討中
- レジ袋は来年より有料化、使い捨て容器（スプーン、フォーク）などデポジット制にすればどうか
- ◇ 簡単に捨てない為に先払いするデポジット制もあるが、企業が行う対策である。意見は今後の政策に生かしていきたい
- レジ袋の有料化はプラスチック対策になるのか
- ◇ まず、何が減らせるのかが重要、身近なものから取り組むのにゴミ袋がわかりやすい。自身がエコバッグを持参すればレジ袋の購入には至らず、減っていく
- レジ袋の有料化の売り上げは、海洋プラスチックの改修費用に使われるのか
- ◇ 有料化は税を課すようなものではない。バイオマス由来の植物を原料としたレジ袋に転換していくための費用や、海洋プラスチックの取組にもつながっていくものと考えている
- 以前はペットボトルのキャップを大量に集め寄付することにより、お金をもらったが現在はそのような取組みがあるのか
- ◇ 現在はない。国では、ペットボトルを減らしてる

地区懇談会の概要

文中 ○：地域（発表、意見、質問） ◇：地域以外（テーマ説明、解説、回答）

汲沢地区

1 令和元年度戸塚区運営方針について

◇ 資料を基に説明を行った

2 青少年指導員の活動紹介

○ パワーポイントを用いて、地区・区の青少年指導員の活動紹介を行った

《区の活動紹介》

・ チャレンジフェスティバル

26年間続いている行事。各地区の青少年指導員が各ブース（幅跳び、グラウンドダーツ等）を担当している区の青少年指導員が企画・運営をしている

・ 新人研修

新任の青少年指導員が青少年指導員としての基礎を学ぶ研修

・ 全体研修（実務研修）

それぞれの地区で行っており、工作教室や野外研修の指導方法を学ぶ

・ 全市一斉パトロール

指定された日の夜の22時から。社会環境健全化を目的した全市一斉パトロールを実施

・ 区民まつり

工作体験コーナーとたい焼き販売に分かれて参加。工作体験は紙パックや色紙、ストロー等を用意して子ども達が自由に工作する手伝い

・ 青少年防災対応力強化研修

中学生・高校生に対し、AEDやロープの使い方等の講習

《地区の活動紹介（主な行事の抜粋）》

青少年指導員が主催若しくは共催として参画している行事を紹介した。

・ 工作教室（青指主催、8月と12月の2回）

・ 人形劇&クリスマス会（青指主催、12月）

・ まさかりが淵の花植え支援（子ども会主催、6月と3月）

・ 七夕まつり（民生・児童委員主催、6月）

・ 汲沢納涼祭への模擬店の出店（連合町内会主催、7月）

・ 昔遊び（汲小クッズクラブ主催、1月）

3 安全安心について（警察講話）

◇ 戸塚警察署生活安全課より、資料を配布し説明

・ 刑法犯認知件数が今年に入ってから8月22日現在で735件。このうち、泥棒が戸塚区内で増えてきている。玄関、窓ともに無施錠だと狙われてしまうので、短時間の外出であってもカギをかけて欲しい

・ 防犯フィルムは全面に貼るのが理想だが、錠の付近だけでも有効。また、防犯フィルムは犯人を警戒させ、狙われにくくする効果もある

・ 補助錠をつける場合は下ではなく、上につける方が有効

・ 増加している犯罪として、車上狙いがある。こちらもカギをかけるのが重要、他には見える場所にカバン等を置かないことも重要車を停めるのも、明るい場所や人通りの多い場所が良い

・ 振り込め詐欺も非常に多い、今年に入ってから戸塚区内で66件、1億円以上の被害がでている

最近の手口の紹介し、迷惑電話防止機能が付いた電話機とすることが予防に効果があることを説明

地区懇談会の概要

文中 ○：地域（発表、意見、質問） ◇：地域以外（テーマ説明、解説、回答）

上倉田地区

1 第三期 とつかハートプラン 地区別計画 後半期の進め方

4つのグループに分かれ、「地域活動に参加する仲間づくり」をテーマに議論を行い、各グループより次のような意見が発表された

Aグループ

- ・慣例行事は減らし、土日の顔見知りづくりの活動を増やす
- ・子ども、学生向けのイベントを企画する。子どもの目線で活動を考えるのもいい
- ・高校生、大学生の意見も役に立つのでは
- ・休憩場所、居場所があれば人が集まってくるのでは
- ・担い手育成講座を学識のある先生を呼んでやるのもいい

Bグループ

- ・現在の自治会・町内会役員が担っている仕事を見直す
- ・若い人へのアプローチ、子ども達に向けてのイベント、母親の参加を増やし、父親の参加にも繋げていく
- ・お祭りや町内旅行を利用しながら関係を深めていく

Cグループ

- ・趣味の会の仲間から自発的なアイデアが出てくればそれを育てていく
- ・マンションの方は繋がりが好きではないという意見がでた、それぞれの立場で団体（地域）にあったやり方を探し出す
- ・お祭り等のイベントは顔がつながるチャンス、声掛けを積極的に行っていく

Dグループ

- ・お酒を飲む機会がつながりを作る上で大切
- ・今ある強みを活かす
- ・町内会はゆるい横のつながりが強み、口コミで誘い合うことが大切

2 戸塚警察署による防犯講話

- ◇ ・戸塚区内では依然、特殊詐欺による被害が非常に多い
- ・最近は警察官等を名乗り、キャッシュカードを取りに来る手口が多い
- ・警察官を名乗っている場合は、警察手帳をしっかりと確認し、部署と名前を確認するのが効果的である

地区懇談会の概要

文中 ○：地域（発表、意見、質問） ◇：地域以外（テーマ説明、解説、回答）

下倉田地区

1 環状3号線（ケアプラザ入口信号機付近）に横断禁止看板設置

2 環状3号線（ケアプラザ入口信号機のある）交差点での自転車事故防止策

- ◇ ガードレールの隙間は車両出入口などになっているため塞ぐことはできません
現在設置されている横断幕ですが、警察では看板や横断幕については設置していません
信号無視し横断する自転車については、担当部署による指導警告を行います
- 自転車が速度を出したまま通れないように柵を設けることはできないか
- ◇ 車いすの通行に支障をきたすため設置は困難です

3 主要道路の定期清掃と草刈り

- ◇ 環状3号線の車道清掃は月1回行っている。また、草刈りは年1回行っているが要望が多く、頻度を上げるのは難しい

4 県道大船停車場矢部線の歩道等の設置拡幅推進を目指す都市計画道路の指定

- ◇ 県道大船停車場矢部線を新規に都市計画道路として選定する予定はないが、「表」交差点から「下倉田」交差点間については道路改良事業として道路の拡幅や歩道整備を行っている
- 現状バス道路であり、危険性も高いので都市計画道路に選定し早急に整備してほしい
- ◇ 土木事務所が道路改良事業として地権者の協力を得ながら整備をしている

5 JR戸塚駅地下改札口から東口バス乗り場・タクシー乗り場へ上がるエスカレーターの設置

6 戸塚駅地下からのLAPIS3に抜ける地下通路の設置

- ◇ 市営地下鉄地下1階からバスターミナル及びタクシー乗り場へ連絡する階段は、エスカレーター設備を設置できるスペースを確保することが難しい状況です
- ◇ 連絡通路を設けるための掘削場所は、地下1階にJR施設があることなど、様々な課題があり、設置することは難しいと考えています
- 戸塚駅東口・西口の地上から駅上改札へ行く階段にエスカレーターをつけられないか
- ◇ 既にエレベーターが設置されているため、設置は困難

7 災害時の防災放送の要望

- ◇ 令和3年度までに市内190か所防災スピーカーを設置していく。区内では戸塚消防署、東品濃小学校、境木小学校で設置予定。要望は総務局に伝えさせていただく
- 各自治会と双方向の通話ができる無線を整備する計画はないか
- ◇ 災害時は消防署や地域防災拠点を活用して、そこから情報を流す計画になっている

8 各町内会館・自治会館を災害時のサブ拠点に

- ◇ 地域防災拠点に物資、情報が入るようになっていく。地域の代表者が地域防災拠点で得た情報を持ち帰り共有する。物資も同様をお願いしたい。今のところサブ拠点化は考えていない

9 マンションに貯水タンクとマンホール直付トイレ設置の財政的支援を要望

- ◇ トイレ購入費用の助成は一部で試行されているが、貯水タンクの設置補助は今のところない

10 自治会員の高齢化による自治会役員の負担軽減

- ◇ ハマの元気印に掲載されたコミュニティの充実に向けての取組事例等を紹介

11 高齢者等交通弱者への交通手段の支援

- ◇ ケアプラザ車両は業務への支障がない場合は活用している例があり、身体的に来所が困難な方について送迎を実施している

地区懇談会の概要

文中 ○：地域（発表、意見、質問） ◇：地域以外（テーマ説明、解説、回答）

吉田矢部地区

1 吉田町（吉倉橋～元吉倉橋） 吉田町/矢部町（元吉倉橋～駒立橋）（駒立橋～吉田大橋）

- ◇ 道路局の健康みちづくり推進事業、実施計画を説明
- テーマにした柏尾川沿いのプロムナードの石畳のがたつきや、雑草の繁茂等現状を説明
- 草刈りは定期的に行っているのか
- ◇ 土木事務所が要望のあった順に行っていて、要望がなければ行われなかった場合もある
- プロムナード沿いの桜が突然伐採されてトラブルになったことがあった。伐採する際は何のために切るのか、事前に説明を十分にしてほしい
- ◇ 道路局の健康みちづくり推進事業では現在桜について整備等の予定はないが、何かしら工事に入るなら十分にご説明させていただく。桜についてはより丁寧に進めたい
- 吉倉橋～吉田大橋間に桜を植樹してもらえないか
- ◇ 当該場所は道幅が狭く、ソメイヨシノを植えることは難しいと考えている。ソメイヨシノほど大きくならない桜もあるので、検討してみたい。しかし、隣接にお住まいの方のご理解を抜きには進められない
- プロムナードに休憩用の椅子を設置して欲しいとの要望が地域から出たが、椅子を設置することでたまり場になってしまう、ゴミが放置される等の問題もある
- ◇ 椅子の設置は道幅が十分に確保できない場合は難しい

2 その他

- 柏尾川の両脇に土砂が堆積し、雑草が生えているが、大雨等になった際に氾濫を起こす要因になるのではないかと心配している
- ◇ 柏尾川の管理は神奈川県横浜川崎治水事務所が行っており、事務所に問い合わせただければ回答がある
- 川の両側に土砂が堆積して、川としての機能は半分しか果たしていない
- ◇ 最近の川の作り方として、以前のようなコンクリートの三面張りで作るやり方ではなく流れを作りながらという考え方もある。今の状況が問題のある土砂の堆積なのかは分からない
- 問題は土砂よりも、枯草にある。橋脚に溜まって抵抗になってしまう